

北海道社会保険非常勤職員労働組合 組合員の皆様、執行委員長 藤 森 薫 雅 様

連日のお仕事並びに組合活動、大変ご苦勞様です。

この度の自治労北海道本部第 49 回定期大会にて、新たに私たち自治労の仲間になりましたこと、改めてお祝い申し上げます。

私たちの仕事は、どれもが私たちの生活にかかせない仕事ばかりです。

私たちは、誰もが人間らしく、不安を抱かずに生活するために、もともと仕事を分かち合い、助け合って生きてきました。

私たちは、働くことが喜びであり、仕事が面白くて仕方がないことがあり、充実感、達成感を感じることもあります。しかし、現在の効率と利益を追求する論理は、私たちの仕事・生活に深く浸透してきて、誰もが忙しく、いら立ち、疲れています。

今、地方自治体とりわけ現場に近い仕事を狙いうちする形で、ありとあらゆる合理化が行われ、職員数は激減し、職場自体が消滅する事態も生じています。

さらに、委託を受けた職場や公共的サービスを担っている職場は、常に不安定な働き方と孤立しやすい環境におかれ。多くの仲間が仕事がつらいと感じ、苦しいと感じ、辞めたいと思いたいと思いで悩んでいます。

このように、いま、私たち人間の普通の営みが壊れてきています。

こんな時、私たち働く仲間が団結し、助け合えることで、今の状況から解き放つことが出来れば、気分が晴れ、また仕事を頑張ろうという気持ちになれます。家庭生活も充実し、地域社会に参加する余裕も出てきます。そして、家族・仲間が愛しく思えてくると信じています。

こんな人間らしい、ゆとりと活力のある仕事（職場）を実現するため、一緒にがんばっていきましょう。

最後に、何より健康が一番ですので、何卒、無理をせずに組合活動をしていただければと思います。何かお力になれることがありましたら遠慮なく連絡いただければと思います。

2008年10月7日 自治労羽幌町職員組合一同（執行委員長 上田章裕）

